

# 防災一口メモ ③

## 箱根町に影響する地震のタイプ

箱根に関する地震には、いくつか種類がありますので、ここでは、まず、箱根火山の群発地震についてお話ししましょう。

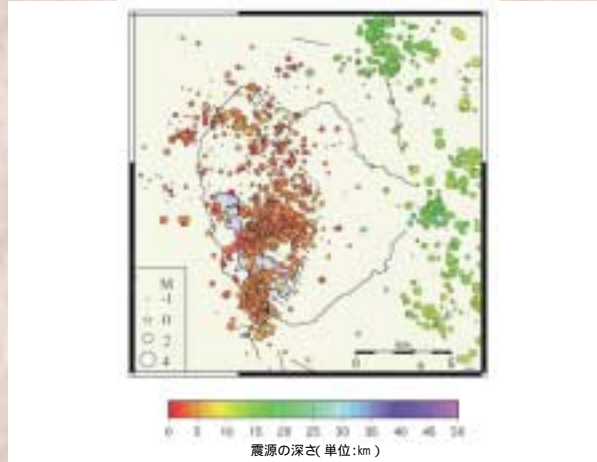
### 【中央火口丘の下で起きる群発地震】

箱根火山では、数年に一度有感地震を伴う群発地震が起こっています。最近の特徴的な例では、記憶に新しく、なおかつ長期間（約4ヶ月）にわたり続いた平成13年6月12日に発生した群発地震でしょう。

このときの震源は、大涌谷・神山・駒ヶ岳にかけての中央火口丘の下で発生しました。

群発地震の規模は、あまり大きくはないので、局地的な揺れを感じるようになります。したがって、神奈川県が設置した湯本（役場防災課）にある地震計（計測震度計）では、捉えきれないため、テレビやラジオに速報として発表されないことがあります。逆に、発表されない場合は、箱根火山の下で起きている群発地震の可能性が高いと言えます。

箱根の群発地震は、箱根山が火山である以上、性質により必ず数年に1度程度起こるものであり、ほぼすべての群発地震が、すぐさま噴火などの大規模な災害に直接結びつくような現象ではないことを認識して、自然と共存するなかで群発地震をよく理解しましょう。なお、不安なときは、防災課や県温泉地学研究所に問合せてください。



神奈川県温泉地学研究所が観測した箱根火山の震源分布 (1989年4月～2000年12月)

### 豆知識

**ニュース速報：**いずれかの震度計で震度3以上の地震を気象庁が観測したときに、発表されるものです。

**箱根町の震度：**箱根湯本に設置してある地震計が感じた震度です。

**震度とマグニチュードの違い：**マグニチュードは、地震のエネルギー規模をあらわす単位で、数字が1違うとエネルギーは約32倍になります。一方、震度は揺れ方の階級であり、地盤や建物の構造などの影響で、場所により異なります。極端な話ですと、基礎の岩盤がちがえば隣近所で震度が違うことになります。

## とっておきの1枚 拝見!



箱根 松井廣興さんより

この写真は、昭和23年8月、箱根駒形神社の夏の祭典で、箱根青年団が仮装行列をした時のものです。それぞれに仮装をして駒形神社から関所まで、国道1号線を練り歩きました。

また、この写真ですが、終戦直後、箱根に集合していたドイツ人の方が撮影され、約半世紀ぶりに箱根を訪れた際に渡してくれたものです。(後列左から9人目が松井さん)

皆さんの思い出や記念の写真を募集しています。詳しいことは企画課にお問い合わせください。

## わが家のちびっ子



りゅうせい  
戸村 龍生 くん(4歳5か月)

剛志・栄さんの長男(湯本)

♥お母さんからのひとこと

「優しい男の子になってね。」

### 町の人口と世帯

人口	14,854 (-7)
- 8月1日現在 -	男 6,992 女 7,862
( )内は前月比	世帯 7,252 (-5)



**R100**  
古紙配合率100%再生紙を使用しています。

ごみ減量標語 出す前にちょっと待って考えて 生かせる資源大切に